

春のシンポジウム 4月27日(土) 於:あざれあ

## 中小企業問題と労働運動の課題

報告 藤井史朗 氏(静岡大学 教授)  
「グローバル化下の浜松地域の変容と  
イノベーションの可能性について」  
(浜松の輸送用機器製造業及び情報サービス業  
の中小企業調査結果より)

浜松におけるリーマン・ショック等の影響において、輸送用機器製造業では、大きく売上高を落とし、数百人以上の企業は海外展開をしているが、それ以下の企業ではしていない。規模の小さい所では、自社開発に困難がある。ネットワーク化は建前の段階と見受けられる。情報サービス業では、リーマン・ショックの影響は半数以上の企業であり、一定回復基調にあるが、海外進出は100名以下の企業では少ない。イノベーションとして、多くは世界的な進展に追いついていくのが精一杯という状況にある。ネットワーク化の動きは、ほとんど見られない。

報告 児玉和人 氏(静岡英和学院大学  
短期大学部 専任講師)

### 「静岡県内における中小企業の現状と課題」

就労人口の70%は中小零細企業に雇用されており、製造業付加価値50%は中小企業が占めている。静岡県の中小企業政策では、組織化、集団化が上手いっている。中小企業基本法改定(1999年)により個店重視が打出され、B級グルメの振興が進んでいるが、経済活性化の長所の反面、民間団体が商標登録を行い、参入規制を行うという問題がある。

報告 望月賢一郎 氏  
(静岡県中小企業家同友会 政策委員長)

### 「静岡県内中小企業の実態と 静岡市中小企業振興基本条例の制定」

中小企業家同友会は、よい会社・よい経営者・よい経営環境を目的としている。同友会の「景況調査」では、リーマン・ショック後の回復が全国平均を下回っている。県内の中小企業振興条例は、

要望を出しているが、実現はまだ難しい。富士市が唯一制定したが、振興会議が設定されないため、現実的には機能していない状況がある。

報告 望月金一 氏  
(建交労 静岡県本部 書記長)

### 「中小企業労働組合の現状と課題」

トラック輸送産業は、経済的に重要な役割を果たしているが、それにふさわしい賃金・労働条件になっていない。一時金は全産業の半分程度の水準であり改善されていない。中小企業では、労使関係のすべての問題を、企業内で解決することは不可能である。物価、住宅、社会保障など、政治的に解決をはからなければならない。その意味において、中小企業経営者と中小企業労働者とは、同じ基盤に立っていると考えられる。

## 就労支援相談会を実施

4月14日(日)県評会議室にて、元篠原労組の組合員で、再就職を希望している方を対象に、就労支援相談会を行いました。当日は3名の方が相談に来られ、キャリアカウンセラーの竹内氏から、履歴書や職務経歴書の書き方のアドバイスを受けました。書類審査で落とされないポイントや、本人の長所を再確認することの重要性が話されました。

## 【今後の日程】

### 学習会「秘密保全法」

5月25日(土)13:00~ 於:あざれあ  
講師:阿部浩基 氏(弁護士)

### 夏のセミナー

6月22日(土)13:00~ 於:県評会議室  
第7回定期総会と記念事業

8月10日(土)13:00~ 於:静岡労政会館  
講演「地域循環型経済への挑戦」  
講師:松丸和夫 氏(中央大学教授)